

No.156

COVID-19 感染拡大と幸福感の関係性の分析
- 岩手県民意識調査結果・パネル調査結果を用いて -

和川 央

2021 年 12 月 8 日

COVID-19 感染拡大と幸福感の関係性の分析

—岩手県民意識調査結果・パネル調査結果を用いて—

和川 央*
岩手県立大学

<要約> 本稿は、「コロナ感染拡大は住民の幸福感を低下させたのか」との問題意識から、岩手県が実施した県民意識調査、パネル調査を分析することで、岩手県民の幸福感にコロナ感染拡大が与えた影響を定量的に明らかにすることを目的としている。分析の結果、コロナ感染拡大は岩手県民の幸福感に何らかの影響を与えたと推測できるが、ポジティブ、ネガティブの影響が混在し、その影響は必ずしも一律ではないこと、時系列で幸福感を有意に低下させるほどの影響ではなかったこと、などが明らかになった。

<キーワード> 新型コロナウイルス感染症、主観的幸福感、領域別実感

1. はじめに

2020 年 1 月に国内初の感染者を確認した COVID-19 すなわち新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）はその後感染が急速に拡大し、2021 年 1 月までの 1 年間で国内の累計感染者数が 250 千人を超え、さらに 2021 年 9 月までには同感染者数が 1,500 千人を超えるなど、爆発的な感染拡大は全国民の行動様式、生活様式を一変させた。今後、コロナ感染拡大の収束が期待されているところであるが、ウィズコロナ社会と称されるように、大きく変容した行動様式、生活様式が完全に回復するまでには一定程度の時間を要することが見込まれている。したがって、コロナ感染拡大に伴う社会課題を抽出するという観点からも、コロナ感染拡大が人々の意識に与えた影響を把握することは意義が大きい。

そこで本稿では、「コロナ感染拡大は住民の幸福感¹を低下させたのか」との問題意識から、社会の幸福感にコロナ感染拡大が与えた影響を定量的に析出することを目的とする。

近年、世界的に幸福感に着目した政策展開に注目が集まっている。我が国ではこれまで、荒川区や岩手県など自治体を中心とした取組が中心であったが、「骨太の方針 2021」に「個人と社会全体の Well-being の実現を目指す」「政府の各種の基本計画等について、Well-being に関する KPI を設定する」と記載されるなど²、政府でも Well-being＝幸福に着目した取組が進められつつある。幸福に着目した政策展開が全国的に普及しつつある中、コロナ感染拡大と幸福感の関係性を明らかにすることは、今後の公共政策の観点からも重要であろう。

本稿の分析対象は、幸福に着目した政策展開を進めていることで知られる岩手県を選定し

* 岩手県立大学 研究・地域連携本部 特任准教授（E-mail: h.wagawa@ipu-office.iwate-pu.ac.jp）

¹ 本稿では、アンケート調査等で幸福感を直接把握することで基数化したものを「主観的幸福感」、主観的幸福感だけでなく生活満足度や主観的幸福感の構成要素など幸福に関連する意識を基数化したものを「幸福感」、概念的な幸福を「幸福」と表現する。

² 『経済財政運営と改革の基本方針 2021』（平成 3 年 6 月 18 日閣議決定）

た。岩手県は、県民の主観的幸福感を正確に把握するため、県民を対象に毎年 5,000 人を対象とした県民意識調査を実施するとともに、県民の主観的幸福感の変化を的確に把握するため、600 人を対象としたパネル調査も実施しており、コロナ感染拡大が主観的幸福感に与えた影響を分析する地域として最適であると判断した。

2. 分析対象

2.1 岩手県の幸福に着目した政策展開

本稿が分析対象として選定した岩手県は、上述したとおり、幸福に着目した政策展開を実施している先駆的自治体として広く知られている。その取り組みは多岐に渡るが、代表的取組の一つは、総合計画の政策体系を従来型の「保健福祉」「農林水産業」「商工業」といった政策ベースの柱建てから抜本的に発想を転換し、県民の幸福感の体系に基づいた政策体系を構築したことが挙げられる³。その政策体系は、岩手県が設置した外部有識者会議である「岩手の幸福に関する指標研究会」の報告書に基づいており、同研究会報告書では、岩手県が実施した 2 回の県民意識調査の結果を分析することで、岩手県民の主観的幸福感は 12 領域別の実感（以下「領域別実感」という。）で構成されていることを明らかにした。同研究会報告書が明らかにした岩手県の幸福体系（主観的幸福感と 12 領域の関係図）は図 1 のとおりである。領域別実感は、主観的幸福感の要素と考えることができることから、本稿では主観的幸福感と領域別実感を総称して「幸福感」と表現する。

岩手県を分析対象としている本稿では、図 1 の幸福体系を基に分析を進めていくこととし、コロナ感染拡大が主観的幸福感に直接影響を与えるだけでなく、領域別実感に対する影響も分析することで、コロナ感染拡大が岩手県民の幸福感に与えた影響を分析していく。

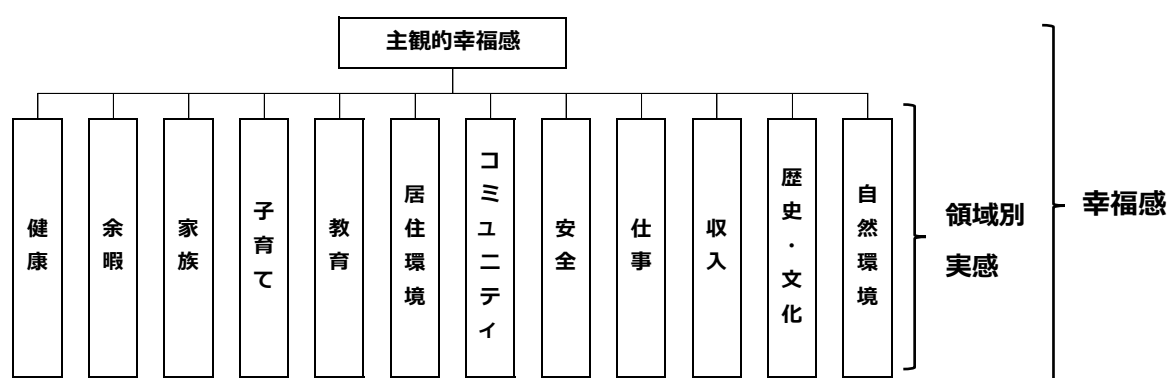


図 1 岩手県の幸福体系（主観的幸福感と 12 領域別実感の関係図）

（出所）『岩手の幸福に関する指標研究会報告書』（2017）をもとに筆者作成

³ 具体的には、12 領域を、「健康・余暇」「家族・子育て」「教育」「居住環境・コミュニティ」「安全」「仕事・収入」「歴史・文化」「自然環境」の 8 つに統合するとともに、それらを下支えする政策として「社会基盤」「参画」を加えることで、10 の政策分野を設定した。岩手県では、これらの政策分野ごとに「いわて幸福関連指標」を設定し、政策評価と連動させることで、県民の幸福感の向上につながる政策展開を目指している。詳細は白水・小野・加藤・本多・菊池・和川（2019）、広井・和川（2020）を参照のこと。

2.2 調査の概要

2.2.1 県民意識調査の概要

本稿が分析対象とする調査の一つは、岩手県が毎年実施している「県の施策に関する県民意識調査」（以下「県民意識調査」という。）である。県民意識調査は、県の政策立案や政策評価に活用することを目的に、無作為抽出した5,000人を対象に毎年実施されている。県民意識調査では、主観的幸福感、12領域別実感に加え、総合計画の政策の柱となる政策項目別の満足感、生活時間、近所づきあい等のソーシャルキャピタル等を把握している。

本稿が分析対象とする調査項目は、「主観的幸福感」、「12領域別実感」のほか、領域別実感ごとに把握している「コロナ感染拡大の影響の実感」（以下「コロナ影響度」という。）とした。コロナ影響度は、領域別実感ごとに、コロナ感染拡大の影響の度合いを、良い影響があった、やや良い影響があった、どちらともいえない、やや悪い影響があった、悪い影響があった、影響がなかった、で把握している。また、領域別実感は心と体の健康を「健康」として把握しているが、コロナ影響度はその影響をより詳細に把握するため「体の健康」と「心の健康」に分離して把握しているため、13項目となっている。県民意識調査では、主観的幸福感と領域別実感を、幸福、やや幸福、どちらでもない、やや幸福でない、幸福でない、などの5段階評価で把握していることから、分析ではそれらに1～5点を配点したリッカート尺度を利用する。なお、すべての設問で「わからない」が選択肢に含まれていることから、「わからない」のサンプルは未回答と同様に欠損として扱った。調査の概要は表1、幸福感の設問と単純集計結果は表2、コロナ影響度の単純集計結果は表3のとおりである⁴。

表1 調査の概要[県民意識調査]

	2020年調査	2021年調査
調査対象	県内に居住する18歳以上の者	
調査対象者数	5,000人	
抽出方法	選挙人名簿からの層化二段無作為抽出	
調査方法	設問票によるアンケート調査（郵送法）	
調査時期	2020年1～2月	2021年1～2月
有効回収（率）	3,387人（67.7%）	3,549人（71.0%）

（出所）岩手県（2020, 2021）『県の施策に関する県民意識調査報告書』をもとに筆者作成

表2から、2020年と2021年の調査結果を比較すると、主観的幸福感が上昇しており、領域別実感では子育て、教育、安全、仕事、収入の5領域が上昇している。下降したのは健康、コミュニティ、歴史・文化の3領域であり、残りの余暇、子育て、居住環境、自然環境の4領域は横ばいとなった。主観的幸福感と5つの領域別実感が有意に上昇していることから、この間幸福感は全体的に上昇傾向にあったと考えられる。

表3から、コロナ影響度すなわちコロナ感染拡大が領域別実感に与えた影響が、悪い、やや悪いとした割合が50%を超えたのは、高い順に、心の健康、余暇、体の健康、子育て、コミュニティの5領域であり、その割合が最も低かったのは居住環境、自然環境であった。換言すれば、2/3に当たる8領域ではコロナ感染拡大が悪い影響を与えたと感じた割合は半分にも満たない。

⁴ 岩手県では、集計結果に居住地偏在が生じるのを防ぐため、居住地による母集団拡大集計を行っているため、本稿の集計結果は岩手県が公表する値と異なる場合がある。

以上の県民意識調査の単純集計結果から、コロナ感染拡大があったものの、岩手県の幸福感は全体的に上昇傾向にあったことがわかる。また、50%以上がコロナ感染拡大が悪い影響を与えたと感じた心の健康、余暇、子育て、コミュニティの5領域のうち、領域別実感が有意に低下したのは健康とコミュニティの2領域のみであり、逆に子育ては有意に上昇し、余暇は横ばいで推移するなど、単純集計結果によるコロナ影響度と領域別実感との関係性は一律ではない。

表2 主観的幸福感、領域別実感の平均値[県民意識調査]

項目	設問	2020年	2021年	変化
主観的幸福感	あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。	3.48	3.52	0.04 (*)
12領域別実感				
健康	こころやからだは健康だと感じますか	3.15	3.07	△ 0.08 (*)
余暇	余暇が充実していると感じますか	2.93	2.97	0.04
家族	家族と良い関係がとれていると感じますか	3.86	3.85	△ 0.01
子育て	子育てがしやすいと感じますか	3.07	3.16	0.09 (*)
教育	子どものためになる教育が行われていると感じますか	3.09	3.20	0.11 (*)
居住環境	住まいに快適さを感じますか	3.29	3.31	0.02
コミュニティ	地域社会とのつながりを感じますか	3.16	3.09	△ 0.07 (*)
安全	お住まいの地域は安全だと感じますか	3.66	3.76	0.10 (*)
仕事	仕事にやりがいを感じますか	3.38	3.49	0.11 (*)
収入	必要な収入や所得が得られていると感じますか	2.56	2.77	0.21 (*)
歴史・文化	地域の歴史や文化に誇りを感じますか	3.25	3.18	△ 0.07 (*)
自然環境	自然に恵まれていると感じますか	4.16	4.18	0.02

(出所) 筆者作成

表3 領域別の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響の実感(2021年)[県民意識調査]

項目	(a) 良い影響	(b) やや良い影響	(c) どちらとも いえない	(d) やや悪い影響	(e) 悪い影響	(g) 影響なし	(h) 未回答	再掲		
								(a)+(b)	(c)+(g)	(d)+(e)
体の健康	0.03	0.07	0.18	0.17	0.39	0.11	0.05	0.10	0.29	0.56
心の健康	0.02	0.06	0.17	0.21	0.41	0.07	0.05	0.08	0.25	0.62
余暇	0.02	0.06	0.19	0.19	0.41	0.07	0.06	0.08	0.26	0.60
家族	0.05	0.08	0.25	0.16	0.27	0.13	0.05	0.13	0.39	0.43
子育て	0.03	0.07	0.17	0.16	0.37	0.10	0.10	0.10	0.28	0.53
教育	0.01	0.03	0.16	0.15	0.30	0.24	0.11	0.04	0.40	0.45
居住環境	0.03	0.07	0.28	0.16	0.23	0.17	0.06	0.10	0.45	0.39
コミュニティ	0.01	0.05	0.24	0.20	0.32	0.12	0.07	0.06	0.36	0.52
安全	0.02	0.06	0.28	0.18	0.26	0.14	0.06	0.08	0.42	0.44
仕事	0.02	0.05	0.23	0.15	0.26	0.20	0.08	0.07	0.43	0.42
収入	0.02	0.04	0.21	0.15	0.33	0.19	0.07	0.05	0.40	0.47
歴史・文化	0.01	0.02	0.24	0.17	0.31	0.19	0.07	0.03	0.43	0.47
自然環境	0.02	0.06	0.27	0.15	0.23	0.20	0.06	0.08	0.47	0.39

(出所) 筆者作成

2.2.2 パネル調査の概要

上述した県民意識調査は、県民の幸福感の現状を的確に把握する調査として価値が高いものの、調査対象者が毎年異なるため変化の要因の把握が難しい。そこで岩手県では、県民意識調査とは別に、特定の対象者に継続して調査を行うパネル調査を実施することで、県民の意識の変化をより詳細に把握している。岩手県では、県民意識調査を補足するための調査という趣旨で「県民意識調査[補足調査]」との名称を付しているが、本稿では分析の趣旨を明確にするため「パネル調査」と表現する。

パネル調査の調査対象者は、2019年に実施した県民意識調査の中で、パネル調査への協力の有無を確認する設問を設定し、調査への協力を希望した方から性別、年齢、居住地域を考慮して600人を選定した⁵。調査項目は県民意識調査よりも詳細な内容であるが、本稿の分析対象となる調査項目は県民意識調査と同じ、「主観的幸福感」、「領域別実感」、領域別実感ごとの「コロナ影響度」とした。なお、県民意識調査の領域別実感とは心や体の健康をまとめて「健康」としているが、パネル調査の領域別実感とは健康の内容をより詳細に把握するため、「体の健康」と「心の健康」に分離して調査している。これによりパネル調査で把握している領域別実感とは13項目となる。調査の概要は表3、幸福感の設問と単純集計結果は表4、コロナ影響度の単純集計結果は表5のとおりである。

表4から、主観的幸福感、領域別実感ともに単純集計結果は全体的に県民意識調査よりもパネル調査の方が高い傾向にある。2020年と2021年の比較では差が有意な領域が県民意識調査では8領域だったのに対し、パネル調査では4領域しか確認できない。また、表5から、コロナ影響度が、やや悪い、悪いの割合が50%を超えているのは9領域であり、県民意識調査の5領域を上回る。このように、パネル調査の単純集計結果は県民意識調査結果と若干異なる傾向が確認できるが、本研究は横断分析ではなく縦断分析を目的にしており、個人の意識の変化に着目した分析を目的としていることから、それらの差異は大きな問題ではないと判断し、県民意識調査の分析結果を補足する分析として活用していく。

表3 調査の概要[パネル調査]

	2020年調査	2021年調査
調査対象	県内に居住する18歳以上の者	
調査対象者数	600人	
抽出方法	毎年固定	
調査方法	設問票によるアンケート調査（郵送法）	
調査時期	2020年1～2月	2021年1～2月
有効回収（率）	581人（96.8%）	571人（95.5%）

（出所）岩手県総合計画審議会県民の幸福感に関する分析部会（2020, 2021）『県民の幸福感に関する分析部会年次レポート』をもとに筆者作成

⁵ おおむね、男女各300人、20歳代から70歳以上までの10歳階級で各100人、岩手県内4広域振興圏各150人程度で選定している。

表4 分析対象の調査項目と調査結果[パネル調査]

項目	設問	2020年	2021年	変化
主観的幸福感	あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。	3.77	3.77	0.00
12領域別実感				
体の健康	からだが健康だと感じますか	3.42	3.40	△ 0.02
心の健康	こころが健康だと感じますか	3.63	3.55	
余暇	余暇が充実していると感じますか	3.50	3.33	△ 0.17 (*)
家族	家族と良い関係がとれていると感じますか	4.02	3.98	△ 0.04
子育て	子育てがしやすいと感じますか	3.17	3.31	0.14
教育	子どものためになる教育が行われていると感じますか	3.21	3.28	0.07
居住環境	住まいに快適さを感じますか	3.59	3.53	△ 0.06
コミュニティ	地域社会とのつながりを感じますか	3.42	3.36	△ 0.06 (*)
安全	お住まいの地域は安全だと感じますか	3.78	3.92	0.14 (*)
仕事	仕事にやりがいを感じますか	3.60	3.64	0.05
収入	必要な収入や所得が得られていると感じますか	2.87	3.02	0.15 (*)
歴史・文化	地域の歴史や文化に誇りを感じますか	3.29	3.31	0.03
自然環境	自然に恵まれていると感じますか	4.30	4.34	0.04

(注) 「変化」の(*)は、5%水準で差が有意であることを示す。

(出所) 筆者作成

表5 領域別の新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響の実感(2021年)[パネル調査]

項目	(a) 良い影響	(b) やや良い影響	(c) どちらとも いえない	(d) やや悪い影響	(e) 悪い影響	(g) 影響なし	(h) 未回答	再掲		
								(a)+(b)	(c)+(g)	(d)+(e)
体の健康	0.03	0.08	0.15	0.21	0.42	0.09	0.02	0.10	0.25	0.63
心の健康	0.02	0.06	0.08	0.28	0.48	0.05	0.02	0.08	0.14	0.76
余暇	0.01	0.06	0.12	0.21	0.51	0.05	0.02	0.08	0.18	0.72
家族	0.04	0.07	0.22	0.22	0.26	0.16	0.02	0.11	0.38	0.49
子育て	0.02	0.05	0.15	0.21	0.33	0.22	0.04	0.06	0.36	0.54
教育	0.02	0.04	0.15	0.24	0.31	0.21	0.04	0.06	0.36	0.55
居住環境	0.02	0.07	0.30	0.19	0.19	0.20	0.03	0.10	0.50	0.38
コミュニティ	0.01	0.05	0.17	0.30	0.35	0.09	0.02	0.06	0.27	0.65
安全	0.02	0.05	0.26	0.25	0.25	0.14	0.03	0.07	0.40	0.50
仕事	0.02	0.06	0.22	0.20	0.27	0.20	0.03	0.08	0.43	0.47
収入	0.02	0.05	0.18	0.16	0.36	0.21	0.02	0.07	0.38	0.52
歴史・文化	0.01	0.04	0.19	0.29	0.32	0.13	0.02	0.05	0.32	0.61
自然環境	0.02	0.09	0.26	0.21	0.23	0.17	0.02	0.11	0.43	0.44

(出所) 筆者作成

3. 県民意識調査の分析結果

3.1 分析手法

本稿の目的は、上述したとおり「コロナ感染拡大は県民の幸福感を低下させたのか」を明らかにすることにあるが、県民意識調査の調査対象者は毎年無作為抽出で選定されるため、意識の変化とその要因を定量的に明らかにすることは難しい。そこで本節では、「コロナ感染症が幸福感に影響があったと感じた者は、そうでない者に比べて有意に幸福感が低い

か」を明らかにすることで、コロナ感染症と幸福感の関係性を検討する。

具体的には、次の3つの分析を行う。1つ目は、コロナと領域別実感との関係性の分析であり、目的変数を各領域別実感、説明変数を各領域別実感に対するコロナ影響度とした回帰分析により、コロナ影響度と各領域別実感の関係性を定量的に明らかにする。両者の間に有意な正の関係性を確認できない場合は、コロナ感染拡大の影響があったと感じながらも実際の領域別実感には有意に影響を受けていなかった可能性、すなわち、コロナが領域別実感に与えた影響は確認できないと考えることができるであろう。なお、この分析手法では、主観的幸福感とコロナ影響度との関係性を把握することができないことから、領域別実感ごとのコロナ影響度の平均値を算出することで、コロナ影響度の総合影響度を新たに設定する。目的変数を主観的幸福感、説明変数を合成変数である総合影響度とした回帰分析を行うことで、コロナの影響と主観的幸福感の定量的関係性も明らかにする。

2つ目は、コロナ影響度を、ポジティブの影響（どちらでもない、やや良い影響、良い影響）とネガティブの影響（どちらでもない、やや悪い影響、悪い影響）の2つに区分し、1つ目の分析手法と同じ分析を行う。1つ目の分析は、コロナ感染拡大が領域別実感や主観的幸福感に与える影響の有無を把握できるものの、コロナ感染がポジティブな影響を与えたのか、ネガティブな影響を与えたのかを判別することが難しい。そこで、この分析を加えることで、ポジティブの影響で係数が有意にプラスであれば、コロナ感染拡大が領域別実感にポジティブな影響を与えたと判断でき、ネガティブの影響で係数がプラスであれば、ネガティブな影響を与えたと判断することができる。

3つ目の分析では、コロナ感染拡大の影響があったサンプル（良い影響、やや良い影響、どちらでもない、やや悪い影響、悪い影響）を統合することで、新たに「コロナ感染拡大の影響の有無」によるダミー変数のカテゴリを設定する。2つ目の分析手法は、コロナ感染拡大の影響をポジティブ、ネガティブに区分して把握できるものの、両者のサンプル数とパラメータ（回帰係数）が異なるため、全体としてポジティブ、ネガティブどちらの影響が大きかったのかを把握することができない。そこで、目的変数を領域別実感、説明変数をコロナ感染拡大の影響の有無とした回帰分析を行うことで、コロナ感染拡大の影響の有無が各領域別実感にポジティブ、ネガティブいずれの影響を与えたのかを定量的に明らかにする。

上述した3つの分析とも目的変数が離散型確率変数であることから、分析手法は順序選択モデルの1つであるOrdered Logit Modelを用いた。また、属性偏在の影響を除去するため、説明変数には、県民意識調査で把握している性別、年齢階層、職業、家族構成、子の有無を追加した。分析対象サンプルは、分析対象となる目的変数、説明変数に回答したサンプルをペアワイズで抽出した。分析手法の概要は表6のとおりである。

表6 県民意識調査を対象とした分析手法[県民意識調査]

	目的変数	説明変数	概要
分析1	・主観的幸福感 ・領域別実感	コロナ影響度	幸福感とコロナ感染拡大の影響度の相互関係を把握
分析2	・領域別実感	ポジティブなコロナ影響度	幸福感とコロナ感染拡大の影響度をポジティブ、ネガティブ別に把握
	・領域別実感	ネガティブなコロナ影響度	
分析3	・領域別実感	コロナ感染拡大の影響の有無	コロナ感染拡大の影響が全体としてポジティブかネガティブか把握

（出所）筆者作成

3.2 分析結果

(1)分析 1：コロナ影響度と各領域別実感、主観的幸福感の関係性（プールデータ）

目的変数を各領域別実感、説明変数をコロナ影響度と各属性として Ordered Logit Model を実施した結果が表 7（巻末、以下同じ）である⁶。「コロナ影響度」が領域別実感ごとのコロナ影響度を示し、この係数が有意に正である場合はコロナ影響度と領域別実感が正の相互関係にあることを意味する。例えば健康①の列では、目的変数が健康の実感、説明変数のコロナ影響度はコロナ感染拡大が体の健康に与えた影響であり、1 を悪い影響、5 を良い影響としていることから、係数が正であればコロナが悪い影響を与えたと感じている人の健康の実感は低く、コロナが良い影響を与えたと感じている人の健康は高い傾向にあることを示す。また、健康①では推定値の判定が 1 %水準で有意であることがわかる。なお、本稿は幸福感和コロナの影響の関係性の把握が目的であり、説明変数の各属性は属性の調整が目的であることから、分析結果の説明では属性には言及しない。

表 7 から、コロナ影響度と領域別実感が正の関係にあったのは、健康、余暇、家族、子育て、教育、居住環境、安全、収入の 8 領域であった。逆に負の関係にあったのは歴史・文化であり、コミュニティ、自然環境では有意な関係を確認できなかった。表 7 には、主観的幸福感を目的変数とした分析結果を追記している。主観的幸福感の列から、各領域別実感に対するコロナ影響度は主観的幸福感と正の関係性があることがわかる。

以上の結果から、コロナ影響度と主観的幸福感を含む多くの幸福感は正の関係性があり、コロナ感染拡大は幸福感到何らかの影響を与えていると考えることができる。

(2)分析 2：コロナ感染拡大影響実感と各領域別実感の関係性 （ポジティブ・ネガティブ分離データ）

表 7 の分析結果は、コロナ影響度と主観的幸福感や領域別実感との関係性を示す有効な分析であるものの、これだけではコロナ感染拡大の影響が領域別実感にポジティブに影響した（幸福感を上昇させた）のか、ネガティブに影響した（幸福感を低下させた）のかの判別はできない。そこで、目的変数である領域別実感をポジティブな結果だけ、すなわち「どちらでもない」「やや感じる」「感じる」だけのサンプルで分析した結果が表 8、ネガティブな結果だけで分析した結果が表 9 である。

表 8 によれば、分析できた 11 領域中 10 領域でポジティブな影響を確認できたのに対し、表 9 によれば、ネガティブな影響を確認できたのは 4 分野のみであった。このことから、コロナ感染拡大で良い影響があったと感じた人は有意に領域別実感が高かったものの、悪い影響があったと感じた人のうち有意に領域別実感が低かったのは 1/3 程度であったことになる。すなわち、大半の領域別実感はコロナ感染拡大でポジティブな影響を受けたものの、ネガティブな影響を受けたのは 1/3 程度であったと言える。また、領域別実感ごとにポジティブ、ネガティブそれぞれの係数を比較すると、ほとんど領域でポジティブの係数の方が大きい。このことから、コロナ感染拡大でポジティブな影響を受けた人は、ネガティブな影響を

⁶ 表 7 では、推定値が“－”のカテゴリが基準カテゴリ（ベンチマーク変数）となっている。推定値は各カテゴリのパラメータを示し、その値は基準カテゴリとの相対的な差を表すため、属性間でパラメータを単純に比較することはできない。例えば、パラメータがプラス符号であれば基準カテゴリに比べて高いカテゴリであり、マイナス符号であれば基準カテゴリに比べて低いカテゴリであることを意味するが、例えば、年齢階層のパラメータと職業のパラメータを単純に比較することはできない。

受けた人よりも少ないものの、一人一人が受けた影響はポジティブの方が大きいと考えることができる。さらに、ポジティブの係数はすべて正であり良い影響を受けたと感じた人の領域別実感は有意に高いが、ネガティブの係数はコミュニティ、歴史・文化の2つの領域別実感で有意に負となっており、この2つの領域では悪い影響を受けたと感じた人ほど領域別実感が高いとの結果が得られたことになる。

(3) コロナ感染拡大の影響の有無と各領域別実感の関係性

コロナ感染拡大が良い影響を与えていると感じたサンプル数は、悪い影響を与えていると感じたサンプル数よりも大幅に小さいため、(2)の結果をもってコロナ感染拡大が全体として幸福感にポジティブに影響を与えたとは判断することはできない。そこでここでは、説明変数にコロナ感染拡大の影響の有無を設定することで、コロナ感染拡大が全体として幸福感にどのような影響を与えたのかを析出する。具体的には、コロナで悪い影響があった、やや悪い影響があった、どちらでもない、やや良い影響があった、良い影響があった、の5つの選択肢を、「コロナの影響の有無」のダミー変数として設定する。目的変数を領域別実感、説明変数をコロナの影響の有無として分析した結果が表10である。

表10から、係数がマイナスで有意だったのは、家族、居住環境、安全、収入の4領域であった。係数がマイナスであったということは、影響があったと感じたサンプルは有意に領域別実感が低かった、すなわちコロナ感染拡大が全体としてネガティブな影響を与えたと考えることができる。一方で、係数がプラスであったのはコミュニティ、歴史・文化であり、(2)の分析で係数が有意に負であった領域と一致することから、この領域ではコロナ感染拡大が全体的にポジティブな影響を与えたと考えることができる。なお、係数は有意ではないが、余暇、子育て、教育、仕事、自然環境の5分野でも係数がプラスであることは興味深い。これらのことから、コロナ感染拡大は幸福感に対し必ずしも一律にマイナスの影響を与えているわけではないと推測することができる。

4. パネル調査（県民意識調査[補足調査]）分析

3.1 分析手法

上述したとおり、県民意識調査の調査対象者は毎年無作為抽出で選定されるため、意識の変化とその要因を定量的に明らかにすることは難しい。そこでここでは、パネル調査である県民意識調査[補足調査]を対象に分析することで、コロナ影響度と主観的幸福感や領域別実感の変化の関係性を定量的に明らかにする。

ここでの分析は、意識の変化の把握が目的であることから、目的変数である主観的幸福感、領域別実感で2020年と2021年の差を算出し、その差をそれぞれ主観的幸福感の変化、領域別実感の変化とした。この変数は、2020年から2021年にかけて、主観的幸福感や領域別実感が増加すればプラスに、減少すればマイナスに、変化しなければ0になる。

前節で分析対象とした県民意識調査は回答者が毎年異なるため、説明変数に各属性を加えることで集計結果における属性偏在の影響を除去してきたが、ここではパネル調査を対象に同一の回答者の意識の変化を明らかにすることを目的としていることから、属性の影響を考慮する必要がないと判断し、分析で用いる説明変数は領域別のコロナ影響度のみとした。

3.2 分析結果

目的変数を主観的幸福感と領域別実感の変化、説明変数をコロナ影響度として分析したものが表11である。表11から、係数が有意となった領域は確認できなかったことから、コロナ影響度は主観的幸福感や領域別実感の変化に有意な影響を与えなかった（確認できなかった）と考えることができる。

前節では、2021年県民意識調査を分析することで、コロナ感染拡大は領域ごとに差はあるものの全体的に何らかの影響を与えたとの分析結果が得られたが、ここでの分析結果から、コロナ感染拡大の影響は時系列で幸福感を大きく低下させるほどの影響は確認できなかったと解釈することができる。なお、県民意識調査の分析サンプルが3,000前後であるのに対し、パネル調査の分析サンプルは500程度でありサンプル数に約6倍の差があることから、パネル調査を対象とした分析で有意な値が得られなかったことはサンプル数が原因である可能性があることに留意が必要である。

5. おわりに：分析結果のまとめと含意

最後に、これまで行ってきた分析手法とその結果を整理する。

本稿で行ってきた分析内容一覧は参考表1、分析結果一覧は参考表2、分析結果の概要は以下のとおりである。

- (1) 県民意識調査の2020年結果と2021年結果を比較すると、この間、主観的幸福感が有意に上昇したほか、12領域別実感のうち5つが有意に上昇しており、有意に下降したのは3つの領域別実感だけであった。このことから、この間の幸福感はコロナ感染拡大があったものの全体的に上昇傾向にあったと推測できる。
- (2) 分析1の結果から、主観的幸福感と10の領域別実感で「コロナ影響度」と正の相互関係を確認できた。相互関係を確認できなかったのはコミュニティと自然環境、負の相互関係が確認できたのは歴史・文化であった。主観的幸福感と多くの領域別実感で正の相互関係を確認できたことから、コロナは幸福感に何らかの影響を与えたと推測できる。
- (3) 分析2-1、2-2の結果から、分析可能であった11領域別実感中10の領域別実感で「コロナの良い影響」と正の相互関係が確認できた。一方で、「コロナの悪い影響」について正の相互関係が確認できたのは12領域別実感のうち4つのみであり、2つの領域別実感では逆に負の有意な相互関係があった。このことから、(2)ではコロナは幸福感に何らかの影響を与えたとの結論が得られたが、ポジティブな影響を与えているケースも多く、コロナは幸福感に対し必ずしも悪い影響だけを与えたとは限らない。
- (4) 分析3の結果から、「コロナの影響の有無」と有意に負の相互関係すなわちコロナがネガティブな影響を与えたと推測できるのは、家族、居住環境、安全、収入の4つの領域別実感であった。一方で、有意に正の相互関係すなわちコロナがポジティブな影響を与えたと推測できるのはコミュニティ、歴史・文化であった。また、係数は有意ではないが、余暇、子育て、教育、仕事、自然環境の5つの領域別実感でも係数がプラスであった。このことから、(2)では10の領域別実感で何らかのコロナの影響が確認できたが、それは4つの領域別実感ではネガティブな影響であり、2つの領域別実感ではポジティブな影響であると考えられる。
- (5) 分析4の結果から、「コロナ影響度」と有意な相互関係がある「領域別実感の変化」は確認できなかった。このことから、(2)～(4)では、コロナ感染拡大は領域別実感ごと

に差はあるものの全体的に何らかの影響があったとの分析結果が得られたが、コロナ感染拡大の影響は時系列で領域別実感を低下させるほどの影響はなかったと考えられる。

本稿の問題意識は「コロナ感染拡大は住民の幸福感を低下させたのか」であり、その問題を明らかにするため、社会の幸福感到コロナ感染拡大が与えた影響の析出を試みてきた。上述の分析結果から、コロナ感染拡大は住民の幸福感到何らかの影響を与えたが、その影響は一律ではなく、必ずしも幸福感を低下させたわけではない、と考えることができる。

なお、分析結果を概観すると、コロナでネガティブな影響があった、家族、居住環境、安全、収入のうち、居住環境と収入はポジティブ、ネガティブ双方の影響が確認できたのに対し、「家族」はポジティブな影響を確認できなかった。緊急事態宣言の発出や様々な行動制限に鑑みると、コロナの影響で家族と過ごす時間が増えたと想定される中で、領域別実感の「家族」でポジティブな影響を確認できなかったことは興味深い。外出機会の減少で単身赴任者や一人暮らしの方の領域別実感が低下したことによる可能性や生活様式の変化で新たなストレスが発生した可能性も考えられることから、今後は、年齢、家族構成等の差や、リモートワークの状況等生活様式の変化を考慮した分析を加える必要がある。

一方で、領域別実感の「コミュニティ」がポジティブな影響を受けていたことも注目に値する。コロナの影響で外出の頻度が低下し、各種対面活動が中止となるなか、コミュニティ活動は確実に低下しているにも関わらず、コロナは全体として「コミュニティ」にポジティブな影響を与えたという結論が得られた。このことは、これまでのコミュニティ活動は頻度や濃度が高すぎであり、コロナの影響で活動の頻度や濃度が希薄になることで、適切な関係性になった可能性が考えられる。この仮説が正しければ、この関係は地域性が影響している可能性があり、岩手県固有の課題かも知れない。仮説を検証するためには、地域性やコミュニティ活動への帰属意識を考慮（年齢、職業別等）した分析を加える必要がある。

今回の分析は2021年1～2月に実施した調査をもとにしているため、その後、行動様式や生活様式の変容が継続している現在と状況が異なる可能性がある。今回の分析結果の相互関係が今後も継続するのか、時間経過とともに変容するのか、引き続き注視していく必要があるであろう。

参考表1 分析内容一覧

	目的変数	説明変数	概要
県民意識調査			
	分析1	・主観的幸福感 ・領域別実感	コロナ影響度
	分析2-1	・領域別実感	ポジティブなコロナ影響度
	分析2-2	・領域別実感	ネガティブなコロナ影響度
	分析3	・領域別実感	コロナ感染拡大の影響の有無
パネル調査			
	分析4	・主観的幸福感 の変化 ・領域別実感 の変化	コロナ影響度
			幸福感の <u>変化</u> とコロナ感染拡大の影響度の相互関係を把握

（出所）筆者作成

参考表 2 分析結果一覧

領域	2020-2021の 変化 (表2)	分析 1 (表7, 8)	分析 2-1 (表 8)	分析 2-2 (表 9)	分析 3 (表10)	分析 4 (表11, 13)
主観的幸福感	↑	+				
領域別実感						
体の健康	↓	+				
心の健康		+	+			
余暇		+				
家族		+		+	-	
子育て	↑	+				
教育	↑	+	+			
居住環境		+	+	+	-	
コミュニティ	↓		+	-	+	
安全	↑	+	+		-	
仕事	↑	+	+	+		
収入	↑	+	+	+	-	
歴史・文化	↓	-	+	-	+	
自然環境			+			

(注) ↑↓は有意に上昇、低下を示し、+は有意に正負の関係があることを示し、斜線はサンプル数が小さいために分析ができなかったものを示す。

(出所) 筆者作成

【参考文献】

岩手県 (2020) 『平成 2 年県の施策に関する県民意識調査結果報告書』、2020 年 6 月公表。

岩手県 (2021) 『平成 3 年県の施策に関する県民意識調査結果報告書』、2021 年 6 月公表。

岩手県総合計画審議会 県民の幸福感に関する分析部会 (2020) 『岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」令和 2 年度年次レポート』、2020 年 11 月公表。

岩手県総合計画審議会 県民の幸福感に関する分析部会 (2021) 『岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」令和 3 年度年次レポート』、2021 年 11 月公表。

白水伸英、小野博、加藤真司、本多牧人、菊池剛、和川央 (2019) 「岩手県の新総合計画『いわて県民計画 (2019～2028)』～東日本大震災津波からの復興と『いわて幸福関連指標』を含む『幸福』をキーワードとする政策の推進～」、『月刊 地方自治 2019 年 6 月号』、地方自治制度研究会。

広井良典、和川央 (2020) 「幸福度指標をめぐる政策展開」、『月刊 ガバナンス 2020 年 3 月号』、ぎょうせい。

※本研究は「平成 3 年度全学競争研究費[岩手県立大学]」の助成を受けたものです。

表7 主観的幸福感、領域別実感とコロナ影響度の関係（2021年）〔県民意識調査〕

	健康①			健康②			余暇			家族			子育て			教育			居住環境		
	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
コロナ感染拡大の影響	(体の健康)			(心の健康)																	
コロナ影響度	0.22	***	7.22	0.24	***	7.44	0.19	***	5.90	0.25	***	8.07	0.16	***	4.05	0.12	***	2.79	0.35	***	10.51
性別																					
男性	—			—			—			—			—			—			—		
女性	0.14	**	2.00	0.17	**	2.32	0.04		0.56	-0.04		-0.49	0.19	**	2.04	0.07		0.71	0.02		0.31
その他	-1.24		-1.46	-1.23		-1.43	1.36	*	1.77	0.13		0.13	1.58		1.01	2.78	**	2.04	-0.96		-1.00
年齢																					
18～19歳	0.65		1.72	0.60		1.59	1.49	***	3.77	0.42		1.08	0.05		0.09	1.44	***	3.04	-0.07		-0.19
20～29歳	-0.26		-1.45	-0.24		-1.34	0.33	*	1.77	0.26		1.35	-0.19		-0.74	-0.11		-0.43	-0.22		-1.19
30～39歳	-0.27	*	-1.80	-0.23		-1.53	-0.25	*	-1.66	0.15		0.95	-0.01		-0.03	-0.11		-0.58	-0.38	**	-2.46
40～49歳	-0.38	***	-2.90	-0.36	***	-2.80	-0.33	**	-2.49	-0.17		-1.26	-0.06		-0.35	-0.24		-1.45	-0.34	**	-2.57
50～59歳	-0.60	***	-5.01	-0.60	***	-4.96	-0.55	***	-4.48	-0.30	**	-2.43	-0.50	***	-3.24	-0.70	***	-4.49	-0.56	***	-4.55
60～69歳	-0.03		-0.28	-0.04		-0.36	-0.24	**	-2.34	-0.16		-1.50	-0.36	***	-2.72	-0.52	***	-3.89	-0.39	***	-3.84
70歳以上	—			—			—			—		—				—			—		
職業																					
自営業	—			—			—			—		—				—			—		
家族従業者	-0.27		-1.29	-0.26		-1.26	-0.40	*	-1.90	-0.15		-0.68	-0.26		-1.03	0.09		0.36	-0.44	**	-2.04
会社・団体役員	0.23		1.32	0.26		1.48	0.03		0.16	0.24		1.36	0.17		0.81	0.14		0.64	0.30	*	1.70
給与所得者	0.00		-0.03	0.02		0.16	-0.03		-0.24	0.15		1.02	-0.10		-0.56	0.00		-0.02	-0.02		-0.16
パート・アルバイト	-0.13		-0.88	-0.12		-0.81	-0.09		-0.58	-0.08		-0.51	-0.19		-0.97	-0.20		-1.05	-0.27	*	-1.76
学生	0.91	***	2.65	0.97	***	2.84	0.26		0.74	0.55		1.56	-0.54		-1.06	-0.48		-1.12	0.70	**	1.99
専業主婦（主夫）	-0.09		-0.57	-0.07		-0.44	0.12		0.75	0.22		1.31	-0.13		-0.64	0.14		0.65	0.16		0.97
無職	-0.37	***	-2.70	-0.36	***	-2.58	-0.11		-0.82	-0.26	*	-1.80	-0.36	*	-1.95	-0.13		-0.72	-0.17		-1.22
その他	-0.18		-0.60	-0.14		-0.47	-0.10		-0.35	0.33		1.12	-0.06		-0.17	0.25		0.75	0.02		0.07
世帯構成																					
一人暮らし	—			—			—			—		—				—			—		
夫婦のみ	0.20		1.62	0.19		1.53	0.23	*	1.82	0.64	***	4.78	0.04		0.24	0.14		0.80	0.39	***	3.11
2世代世帯	0.13		0.92	0.14		1.00	0.04		0.26	0.55	***	3.75	0.26		1.44	0.28		1.56	0.48	***	3.48
3世代以上世帯	-0.10		-0.92	-0.09		-0.82	-0.05		-0.43	0.12		0.95	0.10		0.65	0.11		0.72	0.29	***	2.62
その他	-0.42		-1.41	-0.39		-1.29	-0.06		-0.20	-0.13		-0.40	-0.08		-0.17	-0.20		-0.43	0.06		0.18
子の有無																					
いない	—			—			—			—		—				—			—		
いる	0.30	***	3.20	0.32	***	3.36	0.23	**	2.38	0.26	***	2.58	0.64	***	4.35	0.62	***	4.35	0.21	**	2.22
Intercepts																					
1 2	-1.53	***	-8.17	-1.47	***	-7.74	-1.50	***	-7.84	-2.24	***	-10.40	-1.68	***	-6.23	-2.34	***	-8.56	-1.42	***	-7.18
2 3	-0.21		-1.14	-0.14		-0.76	-0.22		-1.15	-1.16	***	-5.71	-0.52	**	-1.98	-0.90	***	-3.45	-0.18		-0.92
3 4	0.84	***	4.55	0.91	***	4.85	0.95	***	4.98	0.21		1.02	1.35	***	5.10	1.17	***	4.46	1.03	***	5.33
4 5	2.50	***	13.14	2.57	***	13.31	2.59	***	13.19	1.89	***	9.26	3.08	***	11.25	3.23	***	11.81	2.79	***	13.96
N	3,047			3,035			2,983			2,982			1,964			2,011			3,006		

（注）判定は推定値のt検定結果を示し、「***」は1%水準で、「**」は5%水準で、「*」は10%水準で有意である。こメータがプラス符号であれば基準カテゴリに比べて満足度が高いカテゴリであり、マイナス符号であれば基準カ（以下、全表の出所）筆者作成

表8 領域別実感とポジティブなコロナ影響度の関係（2021年）〔県民意識調査〕

	健康（からだ）			健康（こころ）			余暇			家族			子育て			教育		
	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
コロナの影響の有無	0.08		0.47	0.72	***	4.06	—	—	—	0.661	***	8.26	—	—	—	0.906	***	5.89
N	896			896						1,601						821		

（注）分析では、表7と同様のサンプル属性を説明変数に加えたが、紙面の関係からサンプル属性の結果の記載“—”は、サンプル数が僅少のため分析不能となったことを示す。

表9 領域別実感とネガティブなコロナ影響度の関係（2021年）〔県民意識調査〕

	健康（からだ）			健康（こころ）			余暇			家族			子育て			教育		
	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
コロナの影響の有無	0.00		0.06	0.11	*	1.80	0.078	*	1.91	0.104	**	2.52	0.078		1.59	0.906		-0.38
N	2,705			2,705			2,750			2,591			1,830			1,897		

（注）分析では、表7と同様のサンプル属性を説明変数に加えたが、紙面の関係からサンプル属性の結果の記載

(表7 つづき)

コミュニティ			安全			仕事			収入			歴史・文化			自然環境			主観的幸福感		
推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
0.02		0.53	0.18	***	5.23	0.05	**	2.06	0.22	***	11.10	-0.15	***	-7.25	-0.01		-0.47	0.12	**	2.57
—			—			—			—			—			—			—		
-0.02		-0.22	-0.12		-1.63	0.19	**	2.30	0.09		1.19	0.18	**	2.32	0.10		1.27	0.29	***	3.68
1.61	**	2.04	-1.02		-1.24	0.65		0.54	-0.76		-0.91	0.15		0.15	-0.28		-0.36	-0.59		-0.71
0.02		0.05	-0.53		-1.33	-0.10		-0.21	0.18		0.42	-0.07		-0.18	0.85	**	2.05	0.99	**	2.48
-0.99	***	-5.12	-0.45	**	-2.35	-0.07		-0.32	-0.46	**	-2.37	-0.29		-1.42	0.20		1.04	0.16		0.81
-0.88	***	-5.57	-0.31	**	-1.97	-0.50	***	-2.91	-0.53	***	-3.43	-0.67	***	-4.10	0.24		1.52	-0.11		-0.64
-0.79	***	-5.98	-0.20		-1.50	-0.45	***	-3.06	-0.37	***	-2.77	-0.43	***	-3.09	0.18		1.29	-0.14		-0.96
-0.81	***	-6.51	-0.35	***	-2.77	-0.61	***	-4.35	-0.45	***	-3.61	-0.58	***	-4.47	0.24	*	1.93	-0.33	**	-2.51
-0.47	***	-4.49	-0.17		-1.62	-0.26	**	-2.06	-0.33	***	-3.16	-0.45	***	-4.08	0.14		1.30	-0.02		-0.20
—			—			—			—			—			—			—		
—			—			—			—			—			—			—		
-0.15		-0.73	0.00		0.00	-0.89	***	-4.02	0.03		0.15	-0.09		-0.40	-0.19		-0.87	-0.01		-0.03
0.15		0.86	0.08		0.42	0.17		0.96	0.73	***	4.19	0.33	*	1.81	0.14		0.75	0.38	**	2.02
-0.26	*	-1.84	-0.12		-0.83	-0.49	***	-3.38	0.16		1.17	0.10		0.67	-0.07		-0.47	0.07		0.48
-0.36	**	-2.29	-0.31	*	-1.94	-0.59	***	-3.74	-0.29	*	-1.88	-0.17		-1.04	-0.31	*	-1.93	-0.18		-1.06
0.32		0.88	0.82	**	2.20	-0.15		-0.28	0.28		0.63	0.58		1.51	0.11		0.30	0.92	***	2.62
-0.14		-0.87	0.01		0.08	-1.44	***	-7.44	-0.24		-1.45	-0.10		-0.61	-0.11		-0.64	0.24		1.36
-0.41	***	-2.92	-0.29	**	-1.97	-1.61	***	-9.46	-1.01	***	-7.06	-0.33	**	-2.18	-0.26	*	-1.78	-0.30	*	-1.96
0.05		0.17	-0.12		-0.39	0.17		0.55	0.00		0.00	0.07		0.24	0.15		0.49	0.04		0.11
—			—			—			—			—			—			—		
0.36	***	2.80	0.18		1.40	0.11		0.78	0.02		0.14	0.08		0.61	0.18		1.39	0.72	***	5.35
0.32	**	2.28	0.14		0.98	0.23		1.48	-0.14		-0.97	0.07		0.46	0.12		0.80	0.44	***	3.02
0.49	***	4.23	0.06		0.55	-0.02		-0.13	-0.30	**	-2.58	0.12		0.95	0.13		1.08	0.27	**	2.26
-0.02		-0.06	-0.23		-0.70	-0.04		-0.09	0.19		0.52	-0.32		-0.86	-0.30		-0.89	-0.22		-0.66
—			—			—			—			—			—			—		
0.45	***	4.57	0.00		0.05	0.62	***	5.75	0.34	***	3.39	0.03		0.34	0.10		0.96	0.82	***	7.98
—			—			—			—			—			—			—		
-2.32	***	-11.47	-3.44	***	-15.25	-2.85	***	-13.30	-1.01	***	-5.48	-3.11	***	-15.01	-4.05	***	-16.55	-1.67	***	-7.44
-0.92	***	-4.64	-2.24	***	-10.79	-1.86	***	-8.99	-0.07		-0.41	-1.83	***	-9.23	-2.77	***	-13.40	-0.30		-1.38
0.48	**	2.42	-0.63	***	-3.12	-0.36	*	-1.78	1.06	***	5.75	-0.11		-0.58	-1.39	***	-7.17	0.94	***	4.33
2.41	***	11.84	1.45	***	7.15	1.35	***	6.54	2.59	***	13.54	1.56	***	7.84	0.55	***	2.86	3.11	***	13.89
2,904			2,984			2,398			2,836			2,683			3,001			804		

とを示す。推定値は各カテゴリパラメータを示し、その値は基準カテゴリとの相対的な差を表す。例えば、パラ
 テゴリに比べて低いカテゴリであることを意味する（以下、同じ）。

表8（続き）

居住環境			コミュニティ			安全			仕事			収入			歴史・文化			自然環境		
推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
0.854	***	9.37	1.141	***	9.06	0.796	***	7.64	1.090	***	9.15	1.044	***	8.72	1.503	***	7.85	0.836	***	7.42
1,742			1,253			1,562			1,179			1,345			1,225			1,731		

は省略した。

表9（続き）

居住環境			コミュニティ			安全			仕事			収入			歴史・文化			自然環境		
推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
0.219	***	5.34	-0.171	***	-4.26	0.040		0.97	0.047	**	2.06	0.217	***	11.10	-0.149	***	-7.25	-0.009		-0.47
2,693			2,718			2,733			1,897			2,836			2,683			3,001		

は省略した。

表10 領域別実感とコロナ影響の有無との関係（2021年）[県民意識調査]

	健康①			健康②			余暇			家族			子育て			教育		
	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
コロナ感染拡大の影響	(体の健康)			(心の健康)														
コロナ影響の有無	-0.06		-0.55	-0.16		-1.34	0.20		1.56	-0.30	***	-3.01	0.06		0.57	0.10		0.53
性別																		
男性	—			—			—			—			—			—		
女性	0.15	**	2.04	0.16	**	2.23	0.01		0.14	-0.02		-0.27	0.17	*	1.86	0.05	**	1.99
その他	-1.11		-1.32	-1.10		-1.30	1.23		1.61	0.28		0.28	1.37		0.87	2.76	***	3.09
年齢																		
18～19歳	0.63		1.67	0.61		1.63	1.44		3.65	0.40		1.03	0.04		0.07	1.46		-0.54
20～29歳	-0.32	*	-1.78	-0.33	*	-1.81	0.25		1.35	0.21		1.10	-0.21		-0.81	-0.13		-0.73
30～39歳	-0.30	**	-2.00	-0.32	**	-2.13	-0.32	**	-2.15	0.10		0.68	-0.06		-0.29	-0.14	*	-1.70
40～49歳	-0.42	***	-3.25	-0.43	***	-3.34	-0.39	***	-3.00	-0.21		-1.60	-0.10		-0.64	-0.28	***	-4.74
50～59歳	-0.67	***	-5.56	-0.68	***	-5.66	-0.62	***	-5.11	-0.36	***	-2.93	-0.54	***	-3.50	-0.74	***	-4.09
60～69歳	-0.08		-0.77	-0.09		-0.87	-0.28	***	-2.76	-0.20	*	-1.94	-0.39	***	-2.92	-0.55		0.40
70歳以上	—			—			—			—			—			—		
職業																		
自営業	—			—			—			—			—			—		
家族従業者	-0.29		-1.38	-0.29		-1.35	-0.40	*	-1.89	-0.19		-0.90	-0.26		-1.01	0.11		0.62
会社・団体役員	0.24		1.37	0.24		1.40	-0.01		-0.04	0.23		1.28	0.16		0.76	0.13		-0.03
給与所得者	-0.01		-0.11	0.00		0.01	-0.07		-0.53	0.12		0.81	-0.11		-0.61	0.00		-1.01
パート・アルバイト	-0.14		-0.93	-0.13		-0.86	-0.09		-0.62	-0.12		-0.76	-0.18		-0.90	-0.20		-1.11
学生	0.93	***	2.72	0.94	***	2.76	0.26		0.73	0.59	*	1.69	-0.46		-0.91	-0.48		0.76
専業主婦（主夫）	-0.10		-0.62	-0.09		-0.60	0.12		0.77	0.18		1.08	-0.12		-0.57	0.16		-0.57
無職	-0.39	***	-2.79	-0.37	***	-2.66	-0.10		-0.72	-0.29	**	-2.04	-0.35	*	-1.86	-0.10		0.73
その他	-0.20		-0.68	-0.15		-0.51	-0.09		-0.32	0.36		1.24	-0.05		-0.13	0.25		0.84
世帯構成																		
一人暮らし	—			—			—			—			—			—		
夫婦のみ	0.19		1.56	0.19		1.51	0.22	*	1.76	0.70	***	5.25	0.03		0.17	0.15		1.53
2世代世帯	0.11		0.82	0.11		0.83	0.01		0.10	0.61	***	4.21	0.26		1.40	0.28		0.81
3世代以上世帯	-0.09		-0.80	-0.09		-0.78	-0.04		-0.39	0.19		1.61	0.11		0.72	0.13		-0.41
その他	-0.38		-1.30	-0.38		-1.27	-0.07		-0.22	-0.12		-0.37	-0.07		-0.15	-0.18	***	4.12
子の有無																		
いない	—			—			—			—			—			—		
いる	0.31	***	3.26	0.32	***	3.35	0.21	**	2.19	0.25	**	2.53	0.63	***	4.24	0.59		0.00
Intercepts																		
1 2	-2.05	***	-10.36	-2.14	***	-10.39	-1.78	***	-8.59	-3.07	***	-13.92	-2.02	***	-7.55	-2.54	***	-4.34
2 3	-0.75	***	-3.84	-0.83	***	-4.10	-0.50	**	-2.46	-2.00	***	-9.59	-0.87	***	-3.34	-1.11	***	3.74
3 4	0.29		1.51	0.21		1.02	0.65	***	3.19	-0.64	***	-3.14	0.99	***	3.80	0.96	***	11.29
4 5	1.94	***	9.78	1.85	***	8.99	2.29	***	10.90	1.02	***	4.97	2.72	***	10.09	3.01		0.00
N	3,047			3,035			2,983			2,982			1,964			2,011		

表11 主観的幸福感、領域別実感の変化とコロナ影響度の関係（2021年）[パネル調査]

	健康（からだ）			健康（こころ）			余暇			家族			子育て			教育		
	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
コロナの影響の有無	-0.03		-0.47	-0.01		-0.08	0.003		0.03	0.061		0.78	-0.021		-0.20	0.186	*	1.80
N	541			537			532			518			289			298		

表10（続き）

居住環境			コミュニティ			安全			仕事			収入			歴史・文化			自然環境		
推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
-0.30	***	-3.40	0.41	***	3.93	-0.46	***	-4.62	0.12		1.13	-0.42	***	-4.72	0.69	***	7.31	0.10		1.14
—			—			—			—			—			—			—		
0.01		0.14	-0.01		-0.15	-0.11		-1.51	0.18	**	2.18	0.10		1.40	0.19	**	2.44	0.10		1.27
-0.96		-0.99	1.58	**	2.00	-1.03		-1.23	0.55		0.46	-0.78		-0.94	0.28		0.29	-0.27		-0.36
0.01		0.02	0.03		0.07	-0.47		-1.19	-0.10		-0.22	0.19		0.44	-0.07		-0.17	0.86		2.05
-0.30		-1.63	-0.99	***	-5.11	-0.50	**	-2.57	-0.07		-0.32	-0.49	**	-2.55	-0.30		-1.47	0.20		1.05
-0.45	***	-2.95	-0.87	***	-5.52	-0.34	**	-2.14	-0.51	***	-2.96	-0.56	***	-3.62	-0.66	***	-4.02	0.24		1.51
-0.39	***	-2.99	-0.80	***	-6.06	-0.23	*	-1.68	-0.47	***	-3.16	-0.43	***	-3.22	-0.41	***	-2.95	0.18		1.29
-0.64	***	-5.24	-0.83	***	-6.67	-0.38	***	-3.03	-0.64	***	-4.58	-0.52	***	-4.18	-0.57	***	-4.37	0.24	*	1.91
-0.44	***	-4.35	-0.50	***	-4.76	-0.19	*	-1.80	-0.28	**	-2.26	-0.36	***	-3.45	-0.44	***	-4.01	0.14		1.27
—			—			—			—			—			—			—		
—			—			—			—			—			—			—		
-0.52	**	-2.41	-0.17		-0.81	-0.05		-0.22	-0.89	***	-4.05	-0.02		-0.08	-0.08		-0.35	-0.19		-0.86
0.30	*	1.71	0.15		0.82	0.07		0.38	0.17		0.95	0.78	***	4.49	0.35	*	1.93	0.14		0.76
-0.04		-0.29	-0.26	*	-1.83	-0.14		-0.96	-0.49	***	-3.36	0.20		1.48	0.10		0.71	-0.07		-0.47
-0.30	**	-1.98	-0.34	**	-2.21	-0.34	**	-2.13	-0.59	***	-3.69	-0.24		-1.54	-0.15		-0.96	-0.30	*	-1.89
0.65	*	1.82	0.31		0.85	0.73	**	1.99	-0.17		-0.31	0.18		0.39	0.61		1.61	0.11		0.30
0.15		0.91	-0.15		-0.91	0.00		-0.02	-1.40	***	-7.23	-0.15		-0.93	-0.08		-0.49	-0.10		-0.61
-0.23	*	-1.68	-0.40	***	-2.84	-0.33	**	-2.29	-1.57	***	-9.26	-0.92	***	-6.45	-0.30	**	-2.03	-0.26	*	-1.75
0.08		0.26	0.04		0.12	-0.14		-0.46	0.18		0.57	0.07		0.22	0.05		0.16	0.15		0.49
—			—			—			—			—			—			—		
0.37	***	2.98	0.36	***	2.79	0.17		1.34	0.12		0.85	0.02		0.12	0.10		0.73	0.19		1.40
0.44	***	3.20	0.31	**	2.18	0.13		0.89	0.23		1.47	-0.16		-1.11	0.08		0.53	0.12		0.81
0.29	***	2.59	0.49	***	4.19	0.07		0.56	-0.01		-0.09	-0.32	***	-2.78	0.12		0.99	0.13		1.10
0.04		0.14	-0.04		-0.11	-0.22		-0.66	-0.06		-0.15	0.14		0.39	-0.37		-1.00	-0.29		-0.88
—			—			—			—			—			—			—		
0.23	**	2.43	0.43	***	4.37	0.02		0.20	0.61	***	5.64	0.34	***	3.44	0.03		0.26	0.09		0.94
-2.57	***	-13.12	-2.03	***	-10.03	-4.28	***	-18.83	-2.89	***	-13.07	-1.90	***	-9.75	-2.11	***	-10.07	-3.95	***	-16.09
-1.34	***	-7.10	-0.62	***	-3.12	-3.08	***	-14.75	-1.90	***	-8.87	-0.99	***	-5.13	-0.84	***	-4.11	-2.66	***	-12.84
-0.16		-0.85	0.78	***	3.92	-1.47	***	-7.30	-0.40	*	-1.90	0.11		0.60	0.88	***	4.35	-1.29	***	-6.57
1.56	***	8.21	2.71	***	13.23	0.61	***	3.03	1.30	***	6.13	1.61	***	8.24	2.56	***	12.22	0.66	***	3.40
3,006			2,904			2,984			2,398			2,836			2,683			3,001		

表11（続き）

居住環境			コミュニティ			安全			仕事			収入			歴史・文化			自然環境		
推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値	推定値	判定	t値
0.011		0.13	0.109		1.26	0.122		1.44	-0.061		-0.65	0.059		0.75	0.017		0.19	-0.048		-0.55
532			526			515			410			512			502			537		